

えど友ホームページ http://www.edo-tomo.jp/

1

於



第<mark>90</mark>号 平成28年

3 - 4

紅戸東京博物館友の会会報

帰ってきた台徳院殿霊廟模型―増上寺宝物展示室― …1~2
友の会セミナー「江戸時代 公家の衣装」3
「古文書一文字で記された歴史情報」に親しむために! …4
平成 28 年度 [古文書講座] の概要とご案内5
えど友広小路

会員からの投稿「友の会 15 周年を迎えて」/えど友サークルだより/友の会めも……………………6~7

『町方書上』全巻刊行完	結記念セミナーの開催7		
見学会『江戸名所図会』	の挿絵で歩く江戸の町(3)8		
友の会特別観覧会			

「レオナルド・ダ・ヴィンチ―天才の挑戦」9
江戸博クリップ「我が家の愛猫」9
江戸名所図会を歩く…② [行人坂から大鳥大明神社]…10
催事案内/会員優待のお知らせ11~12

帰ってきた 台徳院殿霊廟模型 --増上寺宝物展示室--

芝増上寺にあった江戸幕府2代将軍、徳川秀忠の台徳院殿霊廟は昭和20年5月25日の空襲で焼け落ちました。往時の壮麗な建築を偲ばせる主要部分の精密な模型が英国から里帰りし、増上寺宝物展示室で公開されています。

德川家霊廟

徳川家の菩提寺である増上寺の敷地は芝大門の西側一帯、現在の芝公園1丁目から4丁目にあたる広大なエリアで、増上寺を中心にその塔頭や学寮が立ち並んでいました。増上寺本堂の南側には台徳院とその妻原宮安国殿がありました。本堂を祀る東宮安国殿がありました。本堂を決んだ北側、現在ホテルの建っている敷地は5人の将軍とその正室の墓所でしたが、それらの霊廟は3月10日の下町大空襲の際に被害を受け、68棟あった建物は二天門を除いてすべて消失。次いで、5月25日には台徳院殿霊廟、崇源院殿霊廟、東照宮安国

殿が空襲に遭います。台徳院の 霊廟で焼失を免れた建物は惣門、 勅額門、御成門などごく一部で した。

日英博覧会

台徳院殿霊廟は、桃山時代から江戸初期の、天下人の霊廟の 建築様式である複雑な権現造り が採用されていました。前面の 拝殿と相の間は和様で、後方の 本殿は唐様と、建築様式が異な る並外れたものでした。さらに その内外には手の込んだ彫刻や極彩色の絵画、金襴巻などが施されていました。今ではモノクロの写真でしか見られないこの焼け落ちた台徳院殿霊廟ですが、主要部分の10分の1模型が、明治43年(1910)ロンドンで開催された日英博覧会に東京市の展示物として出品され、博覧会終了後には英国王室へ贈呈されました。

台徳院殿霊廟模型は、本殿・相の間・拝殿・中門・透塀から成り、全体で幅4m×奥行6m、高さが1.8mもの大きさです。製作は、東京美術学校(現東京芸術大学)が行い、古宇田実教授(建築)、高村光雲教授(彫刻)の監修のもとに明治末期の最高

国列の監修のもとに明治末期の取高まり

本版は信味と、定来はパッチは る並外れたものでした。さらに、Royal Collection Trust / ©Her Majesty Queen Elizabeth II 2015

の技術をもって、忠実に再現されま した。日英博覧会の後はロンドン・ キュー王立植物園で公開されていま したが、その後解体され、英国ロイ ヤル・コレクションの倉庫に保管さ れていたといいます。

霊廟模型の再発見

それから80年余を経た平成8年、 所有財産を整理していた英国ロイヤル・コレクション財団はこの日本建築の調査を、日本の霊廟建築を専門とする当時メルボルン大学のウイリアム・コールドレイク氏に依頼し、ようやく眠っていたこの日本建築が台徳院殿霊廟模型であると確認されました。

その模型を日本に長期貸与し、 一般公開したいという意向が英 国側からもたらされたのは再発 見から数年かけて行われた現地 調査が終了してからです。当時 の駐日大使を通じて協力を依 されたのは徳川宗家でした。 し、模型の規模が大きく、で かし、模型の規模が大きく、で かよが話は進展せず、中断した 状態が長く続いた後、徳川宗家 から相談を受けた増上寺が修復

後の受け入れを受諾します。しかし、 新たな施設増設にかかる建坪率の間 題や、移送・修復にかかる費用の問 題など多くの困難があり、懸案事項 の解決には時間がかかりました。

平成20年には英国チャールズ皇 太子から霊廟模型の一部である来迎 柱を拝領し、帝国ホテルで引き渡し 式が行われます。それを契機に、最 終的に長期貸与に向けてのプロジェ クトが増上寺で始まったのは平成 25年(2013)でした。この年が慶長 18年(1613)に日英の外交、通商、文 化交流がスタートしてから400年 であることを記念したものです。実 物の霊廟があった増上寺が受け入れ 先となったのは、本来収まるべき所 に収まったといえるのではないで しょうか。

霊廟模型の修復と展示

平成26年4月に模型一式、12個 口の貨物が増上寺に到着し、修復作 業が始まります。日光東照宮の先駆 として造営された台徳院殿霊廟の、 きらめくばかりの色彩と精緻な彫刻 が忠実に再現されたこの模型の修復 は小西美術工藝社によって行われま した。修復とクリーニングが施され た模型はその輝きを取り戻し、増上 寺本堂地下のホールとして使われて いた広い空間を展示室として改装し た、「増上寺宝物展示室」の中心に据 えられています。

模型は中門から本殿へと続いてい ますが、本殿は屋根を外し、極彩色 の内部空間がその奥に展示されてい ます。屋根と一体になっているとど うしても内部を見にくいということ から、細部を鑑賞できるように外し た展示になっています。

台徳院殿霊廟模型の周囲の展示ス ペースには増上寺の様々な寺宝が展 示できるようになっています。筆者 が昨年4月にオープンしてすぐ訪れ たときは、往時の霊廟写真と、模型

の部材の位置の解説 などの細かい展示を はじめ、台徳院御霊 屋絵図、紙本着色法 然上人伝、文昭院殿 霊廟天井板などに加 え、狩野一信の五百 羅漢図が10幅展示 されていました。平 成23年に江戸博で 行われた100幅一 挙公開はまだ記憶に 新しいところで、久

しぶりに羅漢さんとの再会もできま した。展示室の奥の部屋では霊廟模 型の搬入から修復を記録したドキュ メンタリーが常時上映されており、 じっくりその過程をみることができ ます。

周囲の展示スペースでは随時企画 展が行われています。11月に2度目 の訪問をしたところ、企画展として 「五百羅漢図展」の前期第21幅~第 40幅展示が行われていました。現在 は後期の第41幅~第60幅展示が3 月13日まで行われています。3月 19日(土)からは「葵の御紋展」とし て、増上寺所蔵の葵紋のついた工芸 品、調度品や仏具、台徳院殿霊廟模 型関連のパーツなどが展示されます。 五百羅漢図第61幅から第70幅の展 示もあります。

失われたものへの憧憬

日光東照宮は平成の大修理中です。 友の会のバスツアーで日光を訪れた ときは修復されたばかりの唐門の白 さに感嘆しました。このように定期 的に修復され、国内外からの多くの 参拝客を魅了する日光東照宮です が、台徳院殿霊廟も戦前には国宝の 指定を受けていました。空襲で焼失 するという痛ましい出来事がなけれ ば、21世紀の今も日光東照宮のよう に多くの人々の注目を集めていたに 違いありません。

> その霊廟跡の現状 は、ほぼ跡形もない といえますが、唯一 芝の地に残っている 惣門は高層ホテルの 建築に先立った平成 13年の発掘調査時 に修復され、往時の 姿を取り戻して元の 場所から45m東寄



▲宝物展示室全景 Royal Collection Trust / ©Her Majesty Queen Elizabeth II 2015

りに移されました。

その門から坂を上って行くと、発 掘調査時に特定された、かつて惣門 手前にあった堀の跡や、惣門、勅額 門の位置が通路上に復元されていま す。一帯はあたかも高層ホテルの庭 園のように整備され、ここに壮大な 霊廟があったとは想像もつかないよ うな変化です。しかし、この復元さ れた位置を頼りに想像はできます。 勅額門の先には中門から拝殿、本殿 と続く台徳院殿霊廟が、左手の高層 ホテルの建っている辺りは丘になっ ていて奥院宝塔がありました。広重 の『名所江戸百景』にも描かれた五 重塔は宝塔の少し奥、丘の中腹に 建っていました。この一帯は丸山古 墳群と呼ばれ、11個の円墳が奥院 宝塔を囲むようにありましたが、唯 一残っている大型の前方後円墳であ る丸山古墳以外はすべて開発のため に消滅しています。五重塔は丸山古 墳にある大野伴睦歌碑の下、削られ て駐車場になっているあたりにあっ たようです。

ここがホテルではなく、せめて焼 け残った霊廟跡などが保存・復元さ れた史跡公園になっていれば、と残 念に思いつつそぞろ歩いていると狭 山の不動寺を訪れてみたい思いに駆 られます。そのお寺には惣門以外の 焼け残った門や石灯籠などが移築・ 保存されているというのですから。 【取材】文・写真:中村貞子(広報部会)

参考資料:『蘇る台徳院霊廟』(建築史 学第30号)、「台徳院殿霊廟模型貸与 への経緯」(増上寺教務部出版課資料)、 『増上寺徳川家霊廟』(平成21年度港 区立港郷土資料館特別展)、『企画展芝 増上寺~秀忠とお江の寺~』(江戸東 京博物館)、「増上寺の石灯籠」(伊藤友 巳氏 HP)



▲台徳院殿霊廟模型本殿部分 Royal Collection Trust / ©Her Majesty Queen Elizabeth II 2015

第159回 江戸東京博物館友の会セミナー(平成27年12月1日)

江戸時代 公家の衣装 - 公家装束「束帯・衣冠」を着てみましょう -

講師 田中 潤さん(学習院大学非常勤講師)



衣冠・束帯とは何か

肖像画の徳川家康公が着用しているのが束帯です。公家の装束は衣冠束帯という一つの装束のように思われがちですが、衣冠と束帯は別の装束です。衣冠・束帯は平安時代のものと思われていますが、平安時代そのままの形で伝わったものでもありません。時代ごとに変化してきたのです。束帯は公家の正装、衣冠は略装です。実際に着装を見ていただき、身分制によって違ってくる色、織、仕立てなどをご紹介していきます。

衣冠・束帯の歴史

明治天皇の前の孝明天皇まで、礼 服というものが即位の際に着用されました。礼服は今でいう様々なアップリケが貼り付けられた赤い中国風の服です。欧風化の流れの中で日本的なものを残していこうという明治政府の方針が出てきて、日本の君主である天皇にふさわしい装束として取り上げられたのが東帯でした。東帯は平安時代の朝服という服の系統を継いだものです。

衣冠・束帯の構造

身分が高いほど多くの上質な絹地 を大量に使えるようになったため、 一番上に着る袍という服などが大き く長くなり、時代によって変化しつ つ、今日の形になりました。位に よって色が決まっており、一位から 四位は、模様の織り出されている黒 の袍、五位は模様の織り出されてい る赤、六位は漂色(ブルーがかった 色)の袍と決められていました。平た く広げた状態の前面、背面で示され た各々の構造を見ると、前には首が 出る所がありません。首が出る部分 は背面側になっています。背面の腰 の部分の格袋という袋状のものが ありますが、外側に引き出されてい るのが衣冠、内側に折り込まれてい るのが束帯です。束帯は格袋が内側 に折りたたまれているため自分一人では着られません。また東帯と衣冠の着衣の数を見ると衣冠のほうが少ないことがわかります。現在東帯が使われるのは、皇室行事・宮中祭祀、20年に一度行われる、伊勢の神宮式年遷宮、毎年行われる、下鴨神社・上賀茂神社の賀茂祭(葵祭)、石清水八幡宮の石清水祭、春日大社の春日祭の三勅祭です。神職が着ている色付きの装束は衣冠なのです。

冠

冠のルーツは聖徳太子像に見ら れる頭巾のような形の柔らかいもの です。時代の好みで変わっていき、鎌 倉時代の初めには型に張った紙に漆 を塗る張抜という技術で作られるよ うになりました。出っ張った部分は **髷が入る巾子で、冠は、簪で固定しま** したが、後には紙捻という水引の太 い物で結んで留めました。後ろに垂 れている2枚の纓は、聖徳太子像に 見られた後頭部に見える2本のひも のなごりです。文官は纓が後ろに垂 れている垂纓、武官は垂れていると じゃまになるので巻かれた巻纓です。 天皇の冠は立纓といって垂直に 立っています。また、中国朝鮮では 2本の纓が左右に広がっています。 ルーツは一緒なのですが違った変化 を遂げたのです。

衣冠・束帯の着装

友の会の方に実際に着ていただきます。冠は蒸れないように額の部分が網目状になっています。現在のインナーに当たる赤い大口袴、その上にズボンのように前で開き、返はこれた現のはりのほうれた親ををはいう裂が付けられた表袴をははした肌着に当たる単を表袴で着込めます。次に東帯の一番の特徴であるます。次に東帯の一番の特徴である。より頃を長く引いた裾を伴う下襲を着ます。裾の長さは身分により異なりますが、今回使用のものは

江戸時代でいうと摂政・関白着用の 一丈二尺(約3m60cm)です。最後は、 腰背部をくつろがせる役割をする格 袋が背中についている袍です。長い 前を手繰って内側に織り込んで石帯 というベルトで留めます。石帯で東 ねるところから束帯という名称が生 まれました。さらに前の部分で余っ た布を腹部に丸め込んで調節します。 公家たちは皆腹部が豊かに見えるの はこの処理によるものです。公家の ことを長袖と呼んだように袖が非常 に長いので袖を折り込みます。装束 の着装には、山科流と髙倉流の二流 があり、長い袖の処理の仕方も異な ります。帖紙・檜扇を懐中し、笏 を右手に持たせて完成です。笏は位 の一位になれるようにという意味で ^液という木でできていますが、天 皇はその必要がないので、福来材で す。檜扇はもともと木簡を束ねたも ので必要なことをここに書いたとさ れています。足にはソックスのよう な、襪を履き、さらに浅沓を履いて 完成です。

衣冠の着付けで東帯と違うのは、 ひもで裾の長さを調節する指質袴を 着用し、石帯に代わって抱え紐を使 用すること、袍の格袋が引き出され ていることなどです。

着付けを順番に見たことで、肖像画、絵巻物、百人一首などを見る際に何を着用して何が見えているのか理解できることでしょう。

レポーターからひとこと

神社で拝見する神職の方の衣装は 衣冠だったのですね。「陰陽師」の映 画で見たのは?と知らなかったこと ばかり。着付けの行程は動画で残して おくべきでした。モデルの方はさぞお 疲れだったことと思いますが、貴重な 体験になったことでしょう。

参加者152人。

【記録】文・写真:広報部会・大橋弘依

古文書 - 文字で記された歴史情報]

に|親|し|む|た|め|に|

友の会古文書講座担当責任者 宮 俊(みや たかし)

我々現代人の多くは古文書と無関係で過ごしています。したがって、初めて古文書と出会ったときにはほとんど読めません。読めないから楽しさも味わえないのです。

皆さんから、よく「古文書に親しむにはどうしたら良いのでしょうか?」「崩し字を読みたいけれど何から始めたらいいかわからない」などの質問を受けます。「習ってみたいのだが、あのミミズの這ったような字、何となく取り組みにくい、ほとんど読めないので恥ずかしい」というような理由から古文書を敬遠している人が多いのではないでしょうか。

「古文書」を読んでみたいという きっかけは?

2、3例をあげてみます。

- (1) 博物館や資料館の絵巻物・屏 風・著名な人の書などを読める ようになりたい。
- (2) 家に古文書・掛け軸や短冊があるので、自分で読んでみたい。
- (3)『東海道中膝栗毛』『奥の細道』 『江戸名所図会』などに興味があ り読んでみたい。

それでは、どうしたら「古文書」が 読めるようになるのでしょうか?

(1) 古文書に使われている文字について

古文書には現在と同じように漢字、平仮名、片仮名の3つの文字が使われていますが、現在と圧倒的に違うのは、文章の中で「漢字」が9割以上を占めている点です。また、漢字はほとんど旧漢字(旧字体)となります。平仮名は変体仮名が多く、片仮名の使用は比較的少ないです。

江戸時代の古文書は、主に御家流と呼ばれる幕府の公用書体で書かれ、"候文"といわれる和様漢文体(漢文の返り読み)の様式で表記されています。数多くの古文

書はこの御家流の文字の崩し方と "候文"の読み方に慣れれば読むこ とができます。

また、御家流以外の書体もたくさんあります。我々一人一人に"書き癖"があるように、御家流でさえ書いた人によって多少の癖が出ます。ましてその他の古文書は、書いた人の"書き癖"のほかに字のウマイ・ヘタもあり、その字に慣れるまでに少し時間がかかります。

その他にも古文書独特のものがあります。代表的な例として、異体字、簡略化されて書かれる字、多様な変体仮名の使用、など色々ありますがそれらは習いながら覚えていきましょう。

(2)「古文書」の勉強の進め方

古文書は「崩し字が読めるようになりたい」という強い気持ちさえあれば、誰でも読めるようになります。古文書を習う人の取り組み方としては、1時間ずつでも良いですから復習と予習を行いましょう。これを実践する人は数カ月でも驚くほど伸びます。また、一点の古文書を繰り返し読むことでも相当上達します。

要は本人のヤル気次第で、最終 的には相当な差がついてしまいま す。あせらずに「コツコツと努力 を続けることこそが向上のカギ」 です。学習の仕方は、まず原本の 史料と翻刻された資料(その文字 の解読文)とを一字ずつ照合する。 その中で、気になる字は原本の真 似をしてみて崩し字の形を覚えて いきましょう。また筆の流れ、偏 や旁、字形全体の印象などをじっ とにらむ。真似をして書いてみる。 文字から偏なり旁なりの見当をつ けて、辞書を引いて確認する。辞 書を引いても分からない字や読め ない字は先輩や先生にどんどん聞 く。聞いた後に必ず辞書で再確認 して覚えていく。こういうことを

繰り返しながら学習しましょう。 そして古文書を実際に読むことに よって、歴史をじかに感じとるこ とができる喜びも味わってくださ い。古文書が一層楽しくなります。 なお古文書の辞書については多々 ありますので先生や先輩に聞いて レベルに合わせたものを購入して ください。

さあ、「古文書」を始めてみませんか!

古文書はいつからでも始められます。崩し字を覚えること、歴史に触れられることなど、趣味としても悪くないと思います。

古文書は日本人の書いた「日本語」です。前記したように書いた人の字のウマイ・ヘタや"書き癖"などはありますが、読めないはずはありません。自分の好きな古文書について独学で崩し字と格闘するのも一方法ですが、「古文書講座」を受講しながら、少しずつ幅を広げていく(色々な物を読んでいく)方が楽しみながら上達していけると思います。

また、最近の展覧会の図録には史料の写真だけでなく、ほとんどその解読文が付いています。したがって図録を買って勉強することもできますね。その他各地・各所で開かれている「古文書講座」も大変な人気でまっ、友の会以外の学ぶ場も色々ありまで、大学の公開講座、大学の公開講座、大学の公開講座、古文書を勉強している市民サークルなど、江がもましている市民サークルなど、江がもましている市民サークルなど、江が極いますね。様々な学習機会を積極しているでは、学び合う友達を増やしていきましょう。

そのためには、手始めに友の会 「古文書講座」を受講してみてくだ さい。

すでに受講している方は、復習・ 予習を実践して、できるだけ長く続 けましょう。

平 成 28 年 度 [古文書講座] の 概 要 と ご 案 内

ご好評をいただいている古文書講座の平成28年度の内容を 3人の講師にご紹介いただきました。

◆入門編(担当:田中潤講師)

(学習院大学非常勤講師/現在力を入れている研究テーマ:近世・近代文化史。 公家装束を中心にした日本服飾史のほか、 公家文化、有識故実など)

○受講対象者・レベル:毎年たくさんの展覧会や企画展示が全国の美術館・博物館・資料館などで開催されています。絵画や工芸、染織などの美術作品と共に、崩し字で書かれた歴史資料もまた、展覧会を構成していく上で作品に伴う情報を私たちに伝えてくれる大きな役割を果たしています。

この講座では、初めて崩し字(古文書)に触れられる方、すでに読める方であっても基礎から確認をなさりたい方なども歓迎し、全くの初心者の方に合わせた進度で講座を進行します。その際に、できる限り受講者の皆さんに身近な話題の崩し字の古文書を紹介していきます。

この講座では簡単な崩し字で書 かれた古文書などを題材にして、 古文書を読んでいく上での3つの ポイント、①文字から読む②文脈 から読む③周辺の知識から読む― に焦点を当てながら、古文書に書 かれた字の『くずし字辞典』での 調べ方、基本的な文字の読み方な ど、古文書を読んでいくために最 低限必要となる基礎的な知識につ いても、テキストに沿いながらご 紹介していきます。そして、博物 館・美術館に展示された古文書を より親しみをもって見ていただけ るように、文字のみにとどまらず、 書かれた文字だけにとどまらない 古文書の背景の広がりについても 触れていきます。

○講座の進め方:最初に史料を素読し、適宜崩し字の解説を行います。 その後、史料内容についての解説を行います。使用史料は基本的に事前に1期分(計3回分)を一括して配布し、受講者の方々が受講以前に目を通していただいた上でゆっくりと進めていきたいと思います。 ○使用史料:『東都歳事記』を基本 史料として、都市としての江戸を 中心に、その他の関連する史料や 仮名で書かれた和歌なども適宜取 り上げます。

◆初級編(担当:安藤奈々講師)

(学習院大学大学院史学専攻/現在力を入れている研究テーマ:近世対外関係、琉球。特に身分制度などの社会構造)

- ○受講対象者・レベル:本講座では、 基本的な崩し字が読める方を対象 にしていますが、入門と中級の架 け橋となるよう、心掛けていきま す。
- ○講座の進め方:初回に1期分のテキスト(3回分)を配布し、各回で扱う史料の内容・背景知識を解説します。その後、史料読解に入文字の崩れ方、似ている文字をが、よく出てや、的にうなどを重点がなどを重点がなどを重点がなどを重点をしているででででです。ます。2回目以降は予さいでできます。また、崩し字だけで大きないての知識や近世文書の読みようにである活字史料も取り上げ、幅広といきます。といきます。といきます。といきます。
- ○使用する史料:基本的には『旧幕 引継書』などに含まれる江戸に関 する史料をテキストとしますが、 その他幅広く題材として取り上げ ていきたいと考えております。

◆中級編(担当:吉成香澄講師)

(豊島区教育委員会文化財保護専門員/ 現在力を入れている研究テーマ:将軍姫君 の婚姻と幕藩関係、江戸幕府の役職など)

- ○受講対象者・レベル:本講座では、 ある程度崩し字が読める方を対象 にしています。
- ○講座の進め方:初回に1期分のテキストを配布し、各回で解説のレジュメを配布します。各回ではテキストを読み進めて、適宜崩し字の解説を行います。解説は、江戸時代の古文書を読むに当たり押さえておきたい字などを対象とし、基礎的なものについては必要最低限にとどめます。また、古文書の用

語や人物を調べる際の参考資料なども紹介します。本講座では、史料内容の解説をより専門的に行い、より深く理解することを目指します。扱うテキストは、江戸幕府関係のものが主になります。武家社会の様子を、当時の史料から見ていきたいと思います。

- ○使用史料:『丹鶴城旧蔵幕府史料』 (ゆまに書房)、『内閣文庫所藏史籍 叢刊』(汲古書院)などの幕府史料。 または藩で作成された史料。
- ○史料の内容:幕府・藩の諸役所で 作成された記録類。

◆新年度は5月から開講

古文書講座の新年度第1期は、5 月から下記日程で開講します。申込はがきは1講座ごととして、**申込の 受付は3月末まで**です。多数の皆さんのご参加をお待ちしています。また、各講座とも午後の部に余裕があります。

◆入門編

・講師:田中潤さん

・開催日: 5/11(水)、6/1(水)、7/6(水)

◆初級編

・講師:安藤奈々さん

・開催日: 5/18(水)、6/15(水)、7/20(水)

◆中級編

・講師: 吉成香澄さん

・開催日: 5/21(土)、6/18(土)、7/23〈土)

…〔各講座とも共通〕……

• 時間:午前の講座は

10時30分~12時30分 午後の講座は 14時~16時

(注意)午前の講座か、午後の講 座かの希望を明記

・会場:各講座とも江戸博1階会 議室

定員:各講座とも80人(会員 のみ)

・参加費:各講座とも全3回

1,500円 (初回一括払い)

【企画担当責任者】宮 俊(事業部会)



会員からの投稿

友の会 15 周年を迎えて

山本市郎(友の会初代会長)

私と江戸東京博物館との縁は 1997年の新聞のわずかなコラムに 始まりました。博物館の展示案内ボ ランティア採用計画が紹介されてい ました。それに500名以上の応募が あり、70名くらいが運良く指名され、 約半数が外国語を話せる人であった と聞かされました。私を含めほとん どがこの街の歴史を学んだ経験がな かったと思いますが、その後、館も 私達も手探りの学習計画を作り、個 別にセミナーなどを始めたと記憶し ています。

そして、井波参事を通して博物館 外部応援組織を企画する案の提示が あり、館内外に案内書の配布と勧誘 活動を開始、2001年5月に友の会 第1回総会が開かれました。しかし、 規則案などの点は白紙でしたので、 先行する博物館、美術館の会則を参 考に江戸博にふさわしい内容を考え たのですが、その後改訂修正がなさ れ今のように時代に合った形になり ました。色々難問も多かったのです が、ご苦労が特に多かったのは広報 活動ではなかったかと記憶します。 今のように見ても読んでも愉しい 『えど友』に発展したのは皆さまのお かげですし、何年も何年も続いてい るセミナーなど、数え上げればきり がありません。そして記念事業の 数々も15年間に多岐にわたり開催 されました。

発足当初、友の会は独立機関で博 物館の付属団体ではないので、事務 室を開くことから考えなければなり ませんでした。何とか博物館地下楽 屋の小部屋をお借りしてスタートし、 館外の貸し部屋の出費は免れました。 博物館の応援組織ではありますが、

会計は独立採算で、運営はすべてボ ランティアで行うというのが誕生当 初からの基本です。おかげさまで今 日のような立派な健全経営が続いて いるのも会員の皆さまのご協力の賜 と思います。

前にも申し上げた通り、友の会は 江戸博あっての団体で、博物館活動 の手助けの一翼を担っております。 経済的援助は始めから皆無でしたが、 種々活動にご協力いただき、会員数 が1600名を超えますと16、7年前 に設立準備を始めた時代と異なりそ の力も強くなりました。しかし、江 戸博あっての友の会という設立当初 の主旨を堅持し、友の会と博物館が 一体となって将来に向かって支え合 う関係でありたいと思います。多く のこの会に携わっていただいた先輩 各位のご協力に対し、会を創った一 人として敬意表明いたします。

私たち会員一人一人が百代の過客 にして永遠たらんことを。

◆落語と講談を楽しむ会

12月15日(火)田中文彬さんの月番 で古今亭志ん生の「鈴ふり」などの ビデオや、桂米朝「牛の丸薬」、桂三 木助「三井の大黒」の落語テープを 鑑賞した。参加者15人。

1月19日(火)山内啓巳さんの月番 で吉原をテーマにした「吉原クイズ」 や「吉原のはなし」があった後、古 今亭志ん朝の「五人廻し」、柳家小三 治の「付き馬」のビデオを鑑賞した。 参加者16人。

◆藩史研究会

12月11日(金)国定美津子さんが 「水戸藩」の発表を行った。御三家の 一つ常陸国水戸藩は徳川家康の11 男頼房を藩祖とする。徳川将軍家と 水戸徳川家・松戸徳川家との関係や 2代光圀・9代斉昭など歴代藩主の 動向や事跡について地図・系図・写 真その他多くの資料を使って詳しく 解説された。参加者15人。

1月8日(金)野村弘子さんが『歴史 学研究』に所載されたご自身の論文 をもとに「紀州藩」の支配形態につ いての発表を行った。幕藩体制を形 成する近世大名の支配構造の展開を 紀州藩において追究された学術的で 詳細な発表だった。参加者16人。

◆古文書で『八丈実記』を読む会

12月10日(木)八丈島の島役人長戸 路家に伝わる寛政4~5年の御用留 (下)P69~73を解読。前回に続き、 島に疱瘡が流行し、村内でどのよう に取り計らったかを年寄源左衛門が まとめ、島の役人たちに取り締まり 方を伺った手紙の後半を読んだ。参 加者9人。

1月14日(木)御用留(下)P74~84 を解読。寛政10年より文化7年まで の樫立村における過納代金受払一覧 表を読んだ。参加者9人。

1月29日(金)寛政11年の公私用留 6ページ分を解読。島の田の数、過 納の年貢反物への戻金で払った糸や 米などの明細が記されている。参加 者10人。

『八丈実記』は今回で終わり、2月 からは米屋久右衛門の明治3年「町 用日記」を読むことになる。サーク ル名も〔「米屋田中家文書」を読む古 文書の会〕とする。

◆『江戸名所図会』 輪読会

12月17日(木)遠藤陽子さんの担当。 落語でもおなじみの杉並区堀之内妙 法寺から善福寺川沿い南側台地に立 地する大宮八幡宮、渋谷区本町の 幡ヶ谷不動明王から杉並区の慈宏寺、 そして三鷹市の井の頭弁財天宮と井 の頭池までの広範囲の地域。歴史の 要点を絞って分かりやすく解説され た。都指定天然記念物の大宮八幡宮 の社叢は一見の価値がある。参加者

1月21日(木)石井義一さんの担当。 金井橋は小金井橋(小金井市桜町)の こと。川崎平右衛門が植えた玉川上 水堤の桜は昭和10年代まで「小金井 桜」として名をはせた。ここから場 所が現新宿区筑土八幡町に飛ぶ。こ の地には津久戸明神社と築土八幡宮 (現筑土八幡神社)が同じ敷地に並び 立っていたが、津久戸明神社は幾度 か遷座し、現在は築土神社として九 段坂の中ほどにある。逢坂は市ヶ谷 船河原町にある坂で、奈良時代に武 蔵国に任じてきた小野美佐吾とさね かずらの故事にちなんで名付けられ た坂である。参加者16人。

◆「落語で江戸散歩」をなぞる会 12月17日(木)『えど友』第57号10 頁の「落語で江戸散歩⑯崇徳院」を なぞって歩いた。「入谷朝顔発祥之 地」碑や「入谷乾山窯元之碑」を見た

あと、近くの眞源寺(入谷鬼子母神)に参拝、鶯谷駅の南側〜寛永寺裏手を歩いて輪王寺両大師堂に参拝・見学し、上野公園に入って野口英世像、時忘れじの塔を見学後、落語「崇徳院」で若旦那とお嬢さんが出会ったとされる清水観音堂に参拝・見学・休憩した。次いで不忍池畔を歩いて下町風俗資料館に入り見学後、池之端から湯島聖天(心城院)に歩き、大野、各自見学した。参加者32人。12月20日(日)1回目と同じコースを巡った。参加者33人。1月は休会。

◆日本の大道芸伝承会

12月16日(水)深川江戸資料館が3月19日(土)に開催予定の「江戸の物売りと大道芸」へ今回も応援出演することになった。マンネリ化を避け、いつまでも続けられるよう発声練習(外郎売り、がまの油売り)の後、基礎練習をしっかりした。参加者4人。1月13日(水)発声練習(外郎売り、

がまの油売り)の後、基礎練習をしっかりした。参加者4人。

◆江戸を語る会

12月26日(土)1年間のサークル活動の思い出、感想とともに今後やってみたいことを話し合った。江戸時代は大名家、自治組織、町人文化、暦、瓦版その他興味に溢れた時代であり、研究に値すると議論百出の中、楽しい会となった。参加者12人。

◆かっぽれの会

12月2日(水)入門曲「奴さん」をお稽古した。参加者3人。 1月20日(水)入門曲「奴さん」をお稽古した。参加者3人。

●各サークルとも引き続きメンバーを募集しております。参加希望の方は、はがきに①サークル名②会員番号(必須)③氏名を記入の上、友の会事務局へお申し込みください。ただし、輪読系の2サークルについては定員に欠員が出たときに先着順で参加いただけます。

友の会めも (開催日と人数) 平成 27年 12月~平成 28年 1月

◆役員会12月8日(火)15人。1月 12日(火)15人。◆事業部会12月1 日(火)26人。1月5日(火)23人。◆ 広報部会12月15日(火)8人。1月 19日(火)11人。◆総務部会12月 25日(金)19人。1月26日(火)19人。 ◆町方書上翻刻プロジェクト12月 3日(木)A・B 合同会議。14人。12 月17日(木)A·B合同会議。13人。 1月7日(木)A・B 合同会議。13人。 1月21日(木)A・B合同会議。12人。 ◆館蔵古文書翻刻プロジェクト12 月3日(木)A8人·B7人。12月17 日(木)A8人·B8人。1月7日(木)A 休会・B9人。1月21日(木)A8人・ B9人。◆古文書講座 入門編:1月 6日(水)午前89人・午後85人。初 級編:1月20日(水)午前77人・午 後58人。中級編:1月16日(土)午 前50人・午後21人。

『町方書上』全巻刊沂完結記念セミナーの開催

2009年1月、期待が3分、不安が7分という厳しい 状況の中で『町方書上』の翻刻が始められました。原本 146冊という膨大な史料との闘いの日々を経て、今、全 巻刊行を目前にしております。

ご承知のように、『町方書上』第1~8巻はすでに刊行され、幸い新聞や雑誌にも取り上げられて、地道に励んできた努力が認められてまいりました。「読売新聞」では素人のボランティアが行った大きな仕事として驚きの目で書かれており、一方『社会教育』では、シニアの持てる力を活用することは社会にとってソーシャルキャピタルであるとの観点に立って、他の博物館や図書館にもこうした文化ボランティアの誕生することが望まれ、その先駆けであることを高く評価しております。

さて、この3月にはいよいよ『町方書上』第9巻(総索引)が刊行される運びとなりました。7年の長きにわたる全作業を終えることになり、完結を記念してセミナーを開催します。講師は髙山慶子さん、テーマは『町方書上』が名主単位で作成されたという点に着目して「江戸の名主」。町の行政における名主の役割や、名主と町の住民との関係などについてお話しされます。興味のある方は、どうぞ奮ってご参加ください。同伴者の参加も可能です。

記

テ ー マ **「江戸の名主」**

講 師 髙山慶子さん(宇都宮大学准教授)

日 時 3月31日(木) 15時~16時30分

場 所 江戸博1階会議室

参 加 費 500円(同伴者600円、氏名連記のこと)

定 員 100名

申込締切 3月14日(月) 友の会事務局宛てに普通 はがきで、通常の催事申込と同じ要領にて

お寄せください。

『町方書上』第9巻(総索引)頒布申込受付中』

『町方書上』は各巻巻末にも索引が掲載されていますが、総索引は各巻索引を足し合わせての便利さだけではなく、改めて項目の取捨選択を行い、項目数も格段に増やして面目一新したものと自負しております。お申込みは友の会事務局まで普通はがきで。『町方書上』は非売品ですので、図書館などを除き、頒布するのは会員のみです。必ず会員番号と連絡のための電話番号および受け渡し方法をお忘れなく。刊行予定は3月1日、総ページ数A4判約300ページ、頒布価格2,000円、申込締切は3月10日です。

町方書上翻刻プロジェクト 大野 晴美



江戸東京博物館友の会 見学会 (平成27年12月6日)

『江戸名所図会』の挿絵で 歩く江戸の町(3)



神田川南沿いの柳原通りには、か つて土手が築かれ古着屋が立ち並ん でいました。神田川をまたぐ和泉橋 南詰広場に接しているので、通りを 横切った自覚のないままやり過ごす 人が多いようです。和泉橋北詰から 出発した私たち一行も、案内係の方 がいなければ気付かずに通り抜けた と思います。しかし、丁寧な説明を受 け、和泉橋と柳原土手の解説をじっ くり聞くことができたのは収穫です。

お玉が池伝説

次の信号を左折して「馬の水飲み 場」跡を左に見ながら、右折して進 むと、一帯はお玉が池跡地です。今 は池の面影など何処にもなく、お玉 を祀ったお玉稲荷が寂しく建ってい るだけです。近辺にお玉が池の跡を 示す標識が何カ所も立っているのは、 それだけ池が大きかったからでしょ う。一説には不忍池ほどもあったと いわれますが、幕末期には消滅して いました。池の跡地一帯には種痘所 ができ、千葉周作の玄武館もありま した。しかし地名となった「お玉が 池伝説」に、より哀れを感じます。



▲お玉稲荷大明神

もともとこの地には「桜が池」と呼 ばれる大池がありました。堰堤は桜 の名所であり、奥州路も兼ねていま したから、たくさんの人が行き来し ていました。そんな人たちを相手に、 お玉という娘が池畔に茶店を開いて いました。大層な美人であったため、 みるみる評判となりました。言い寄 る男は数知れずいましたが、2人の 男性だけは、いつまでも心に留まっ ていました。だからといって、一方を 選ぶこともできず、悩んだ末に池へ

身を投げてしまいました。以来、誰 いうとなく「お玉が池」と呼ばれる ようになったとのことです。



弁慶橋と龍閑川

売削通りは売苦原の大門からまっ すぐ北へ柳原通りに行き当たる道の ことです。お玉が池を後に藍染川が 流れていた通りに沿って進むと大門 通りと交差します。藍染川はここで 大門通りを鉤の手に横断して流れて いたようですが、そこに架かってい たのが弁慶橋です。

挿絵を見ただけでは、どう流れて いたのか見当がつかず、橋の構造も 分かりません。だからでしょう。『江 戸名所図会』は、挿絵以外に付近の 地形図と平面図を載せています。そ れでも立体的に想像することは、な かなか難しいと思います。挿絵では 高低差もあり、勾配もきつそうな橋 に描かれていますが、現場に立つと 高低差のまるでない平らな道がある だけです。明治18年(1885)に川は 埋め立てられ橋も撤去されましたが、 明治22年になって廃材を利用して 同名の橋が架けられました。現在、赤 坂見附近くの外濠にかかる弁慶橋が そうです。

龍閑川は外濠川から分流し浜町川 に合流していましたが、現在では埋 め立てられて道路になり、川であっ た面影は全くありません。それでも 千代田区と中央区を分ける区境とし ての役割を今でも果たしています。

通油町から元吉原大門跡

蔦屋重三郎(蔦重)は、歌麿や写楽 を見いだした地本問屋として知られ ています。また山東京伝や曲亭馬琴 などの板元でもあります。そんな蔦 重の「耕書堂」があったのが「通流前」 です。道を挟んで斜向かいには同じ 地本問屋の「鶴屋」もありました。

通油町を道なりに進むと、再び大 門通りへ行き当たります。そこの角

に大丸呉服店が ありました。跡 地に沿って大門 通りを南下する と、最後の訪問 地・元吉原の大 門跡はすぐ近く



▲大門通り歩道

現在日本橋税務署がある付近に あったとされます。町の構成は新吉 原同様、大門を入ってすぐ両側が江 戸前一、二丁目。その先が角前、奥 が京前一、二丁目でした。

そんな元吉原大門沿いに北側東西 を区切る外郭線上にあるのが、富澤 稲荷神社であり、南側を区切る場所 にあるのが末廣神社とされています。



▲富澤稲荷神社

富澤稲荷には吉原との関わりについ ては何もありませんが、末廣神社の 案内には吉原とのつながりが書かれ ています。「末廣神社は、江戸時代の 初期に吉原(当初葭原と称した)がこ の地にあった当時(元和三年から明 暦三年まで)その地主神 産土神と して信仰されていました」

ここで全ての予定を終わり、すぐ 近くの人形町駅まで行って解散しま 参加者124人。 した。

【取材】文:広報部会・光田憲雄 写真:同・内匠屋京子

(えど友ホームページに地図と写真 レポートが掲載されています)

江戸東京博物館友の会特別観覧会 (平成28年1月22日)

日伊国交樹立 150 周年記念 特別展 「レオナルド・ダ・ヴィンチ -天才の挑戦 |



平成28年1月16日から、特別展「レ オナルド・ダ・ヴィンチー天才の挑 戦」が開催されています。

1月22日(金)、その友の会特別観 覧会に行ってきました。イタリアの 生んだ大天才レオナルド・ダ・ヴィ ンチの展覧会、今回の一番の目玉は 何といっても彼の円熟期の傑作とい われる、門外不出の至宝「糸巻きの聖 母」(バクルーの聖母)の日本初公開 です。21世紀に入ってセンセーショ ナルな盗難事件にも巻き込まれたこ の作品ですが、イギリスの貴族バク ルー公爵家が所蔵し、レオナルドの 故郷イタリアと、作品のあるイギリ ス以外の場所で一般公開されるのは

初めてのことです。英国外に出るの は実に77年ぶり、「モナリザ」に匹 敵する傑作といわれています。48.3 ×36.8cm と小ぶりの油彩画ですが、 慈愛に満ちた表情で幼子イエスを見 つめる聖母、左手でしっかりと我が 子を抱え、右手はそっと下にかざし 母なる大地のエネルギーを表わして います。また、ちょっといたずらっ 子のような愛くるしい幼子は糸巻き の方に体をひねらせ上を指して何や ら十字架を暗示させます。レオナル ドは登場人物の手の動きで、目に見 えない魂の動きを表現しようとして います。また前景部分の岩肌は驚く ほど写実的で、時間の経過と共に変 化する地質を見事に描いて、科学者、 自然観察者である彼の面目躍如たる ものがあります。

今回の展覧会のもう一つの大きな 見どころはイタリア・トリノの王立 図書館所蔵のレオナルドの直筆研究 ノート『鳥の飛翔に関する手稿』、こ れも日本初公開です。鳥の飛翔に関 する記述ですが、鳥は自然界の鳥と 飛行機の両方を指しています。レオ ナルドは人工の鳥を飛ばして、上空 で吹き荒れる風の中で、どのように 操縦したら墜落しないかという命が けの操縦法を模索しています。実際 に飛行実験をしましたが、失敗に終 わってしまいます。当時の芸術家た

ちはアイデアを人に盗まれることを 恐れ、雑記帳に全容ではなく部分図 や説明文なしの図だけを描いていま した。そのため、この『鳥の飛翔に 関する手稿』も完成図は残されてい ません。飛行機の機体の設計図はレ オナルドの頭の中だけにあり、彼の 死とともに永遠に消え去ってしまい ました。

レオナルド・ダ・ヴィンチ日本初 公開三つ目は、イタリア屈指のレオ ナルド素描画所蔵点数を誇るヴェネ ツィアのアカデミア美術館所蔵の花 や子どもを描いた真筆素描7点です。 彼は人間や自然の観察を徹底的に行 い、デッサンを繰り返し、彼独特の 自然観、世界観をまとめあげました。 これら珠玉の作品は、同館より日本 に出品される素描点数としては今回 が過去最大規模だそうです。

展覧会では、その他にも、死後に 伝説化、神話化されたレオナルド・ ダ・ヴィンチの肖像画や、また彼に 大きな影響を受け、その後ミラノの 画壇を牽引したレオナルド派の人た ちの作品などが数多く展示されてい ます。本展は4月10日まで開催さ れています。ぜひ江戸博で、至宝の 数々を実物でご鑑賞いただきたいと 思います。 参加者101人。

> 【取材】文:広報部会・岡本 脩 写真:同・前田太門

我が家の愛猫

みなさまはじめまして。6月から 展示事業係で働いております、白井 と申します。学ぶことも多く、充実 した日々に、あっという間に半年以 上過ぎてしまいましたが、どうぞよ ろしくお願い致します。

さて、今回は、我が家の愛猫をご 紹介したいと思います。姿は日光東 照宮の眠り猫によく似ている白黒猫 で、もとは野良猫でした。だんだん と寒くなる頃、我が家のガレージで 寝起きし、近くのゴミ捨て場でゴミ をあさる、ちょっと困った子でした。 当初、家に入れるかどうか迷ってい

たのですが、私たちが近づくと、足 にスリスリ、ごろんと横たわって自 分の可愛さをアピールしてきます。 極めつけは、もう帰ろうとする私た ちの先回りをして玄関に座り、中に 入れてくれと背中で語る。それが決 め手となり飼うことになりました。

それから7年の月日がたちました が、猫が一匹増えただけで、少な かった家族間の会話も自然と増え、 家の雰囲気が変わったことをよく覚 えています。ギクシャクしていた我 が家に平和をもたらしてくれた本猫 は、この家には自分が必要だと感じ

展示事業係 白井麻美(しらい/あさみ)

> ていたのでしょうか。寒い時期だけ 抱っこが大好きで、おもちゃは人が 動かしていないと遊ばない。追いか けっこが好きだけど、すぐ追いつか れると遊びたくなくなるという少々 難しい性格の子ですが、私たち家族 は大いに救われています。

> 抱っこをせがまれる嬉しい季節、 愛猫に一刻も早く会いたくて、私は 今日も家路を急ぐのです。

◆このコラムは江戸東京博物館のいろいろ な職務の方々に執筆をお願いしています。

江戸

[行人坂から大鳥大明神社]



今回はJR目黒駅の西側を回りま す。この辺りは江戸時代から目黒不 動の参詣客などで大いに賑わった行 楽地で、朱引(行政上の江戸市域)外 でありながら墨引(町奉行の管轄)内

という特殊な地域です。歩 いたのは紅葉が見頃を迎え た12月初めでした。

行人坂から太鼓橋

目黒駅西口を出て、権之 助坂の左脇の道を入ると、 すぐ行人坂の下りとなりま す。目黒不動への参詣道と して開かれた道ですが、今 でも転げ落ちそうな急坂で、 昔の険しさが想像できます。 明和9年(1772)の「行人坂 の大火」は坂の途中にある 大円寺が火元だったため長

く再建が許されず、図会には「この 寺、いまは亡びたり」となっていま すが、嘉永元年(1848)にようやく再 興されました。

山門を入った左側には、火事の犠 牲者を供養した釈迦三尊・五百羅漢 像などの「大円寺石仏群」がずらり と並んでいます。本堂には山手七福 神の一つ三面大黒天が本尊として祀 られていますが、七福神が本尊とい うのはとても珍しいそうです。また、 八百屋お七の火事にまつわる西運上 人(お七の恋人舌三)の木像とお七地 蔵が阿弥陀堂に祀られています。

西運の修行した松樹山明王院は大 円寺の隣にありましたが、明治時代 に廃絶し、跡地は目黒雅叙園になっ ています。入口付近には明王院の境 内にあったお七井戸が残されていま す。また、ここの後方から行人坂上 にかけての高台は夕日の岡と呼ばれ る紅葉の名所でした。

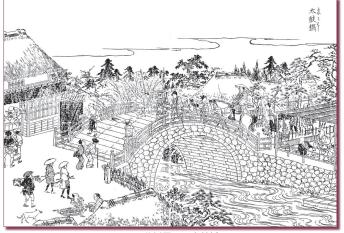
雅叙園の脇を流れる目黒川に架か

るのが太鼓橋で、江戸で最初に架け られた石橋でした。挿絵には見事な アーチ橋が描かれていますが、大正 9年(1920)の豪雨で流されて再建、 平成3年に架けられた現在の橋は 真っ平らです。

霊雲山蟠龍寺から蛸薬師如来

太鼓橋を渡って直進し、山手通り に架かる歩道橋を渡ると霊雲山蟠龍 寺の参道があります。本堂の右手奥 の岩窟内には山手七福神の岩屋弁財 天が祀られていて、一年中拝むこと ができます。一方、手前の弁天堂内 にある木造弁財天は正月のみご開帳

通りを右手に進んで横道奥の階段 を上がると瀧泉寺(目黒不動尊)の 墓地に出ます。ここには「甘藷先生」



▲長谷川雪旦 太鼓橋

と呼ばれた青木昆陽の墓があり、命 日の10月28日には甘藷祭りが行わ

墓前の細い道を下って右に折れ ると海福寺があります。元は深川 にあったため図会では巻之七で取 り上げられていますが、明治43年 (1910)に当地へ移転しています。山 門(四脚門)左手前にある「文化4年 永代橋崩落横死者供養塔及び石碑」 は文化4年(1807)の富岡八幡宮祭 礼で起きた永代橋崩落事故の犠牲者 を供養したもので、寺の移転に伴っ て移されました。塔の周囲には溺死 者の名前がびっしりと刻まれており、 事故の惨状を物語っています。

隣の五百羅漢寺の前を左に曲がっ て行くと、蛸薬師如来として知られ る成就院に出ます。山門の正面には 徳川秀忠の側室お静の方が奉納した お静地蔵尊が並び、その上には大き なタコの絵に「ありがたや福をすい よせるたこ薬師」と書かれたユーモ

ラスな奉納額が掛かっています。本 堂の中を覗くと、3匹のタコに乗っ た薬師如来像が見えました。

門前の目黒不動尊門前通りを左に 進むと、図会では成就院の前になる 臥龍山安養院があります。参道の入 口には「ひかり陵苑」と書かれた大き な看板が出ており、進むと納骨堂の ビルが高くそびえています。境内は 工事中で、観音堂の周囲には石像や 石柱がごろごろと転がっていました。

目黒不動堂から大鳥大明神社

通りに戻り次の角を右折すると、 目黒不動堂(瀧泉寺)の仁王門が見え ます。「江戸五色不動」の一つである とともに、「江戸の三富」といわれ る富くじ興行の場所でもありました。 門前の通りは多くの店で賑わってい

> たようで、挿絵には名物の 目黒飴の店が描かれていま す。門の左手前には後追い 心中で有名な白井権八と小 紫の比翼塚があり、左方向 にある三福堂には山手七福 神の恵比須神が祀られてい ます。

門をくぐると、竜の口か ら水が流れ出る独鈷の滝が 今も変わらぬ水音を立てて います。行者の水垢離場で すが、池の中に立っている 「水かけ不動明王」に滝の水

をかけると身代わりになってくれる そうです。また、滝の左手にある前 不動堂と勢至堂は戦災を免れ、昔の 姿をとどめています。滝の右側の階 段(男坂)を上った先が本堂で、初詣 や毎月28日の縁日には大行列がで きます。

本堂裏手から不動公園に出て、横 の道を進んで目黒通りに突き当たっ た辺りが金比羅坂で、坂上にあった 金比羅大権現社に由来するものです。 右方向に歩くと、「古江戸九社」の一 つで目黒村の総鎮守だった大鳥大明 神社(現大鳥神社)があり、酉の市に は大きな賑わいを見せます。境内に は天然記念物のオオアカガシの老木 がありましたが、近年枯れて若木に 植え替えられています。ここから権 之助坂を上って目黒駅に戻りました。 【取材】歩いた人(文・写真とも):

広報部会・菊池真一

(えど友ホームページに地図と写真 レポートが掲載されています)

催事案内

古文書講座

◆27年度第3期の残日程

【企画担当責任者】宮 俊(事業部会)

友の会特別観覧会

● 2016 年NHK大河ドラマ特別展 「真田丸」

◆今年もNHK大河ドラマ関連として特別展「真田丸」が 開催されます。本展では、大坂の陣で大坂方の中心人物 の一人として活躍した真田信繁(幸村)ゆかりの品々や、 同時代の歴史資料、当時の武将たちが愛した桃山文化に 関する資料を紹介します。

• 開催日:5月13日(金)

17時~17時30分: 見どころ解説 田原学芸員 17時30分~19時: 展示室自由観覧

申込締切:4月25日(月)必着

• 会場:江戸東京博物館・1階ホール/1階展示室

• 定員:200人 同伴者可(はがきに氏名連記)

参加費:会員500円・同伴者600円(当日払い)

【企画担当責任者】玉木達二(事業部会)

友の会セミナー

第 163 回「武鑑を読み解く②旗本・御家人編」 講師 滝口 正哉さん

(千代田区教育委員会文化財調査指導員)

- ◆江戸は18世紀には人口100万人を超える大都市となりますが、その約半数が武家であるという特徴を持っていました。この武家の大部分を占める大名家(藩)や幕臣(旗本・御家人)について、家格・職務・石高・家紋や、大名家の略系図・主要家臣などの詳細を収録した出版物に『武鑑』があります。3月12日(土)開催の「①大名編」に引き続き、今回は徳川家直属の家臣団である旗本・御家人の身分や役職について、その具体的な内容を読み解いていきます。
- ◆講師略歴:たきぐち・まさや

早稲田大学教育学部社会科地理歴史専修卒業。立正大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学。博士(文学)。成城大学・立正大学非常勤講師。専門は近世都市史・文化史。著書に『千社札にみる江戸の社会』(同成社)、『江戸の社会と御免富』(岩田書院)。

- 開催日時: 4月16日(土) 14時~15時30分
- 申込締切:4月8日(金)必着
- 会場:江戸東京博物館・1階ホール
- 定員:200人 同伴者可(はがきに氏名連記)
- 参加費:会員500円・同伴者600円(当日払い)

【企画担当責任者】宮 俊(事業部会)

第164回「山岡鉄舟の人間力」

講師 山本 紀久雄さん(山岡鉄舟研究会会長)

- ◆現在の日本が世界の先進国として、国際的に確固たる地位を確保するスタートは明治維新であり、その背景には「江戸無血開城」という偉業が存在しています。「江戸無血開城」は、時の官軍総参謀であった西郷隆盛と、徳川慶喜の命を受け、進撃する官軍の中を突破し、駿府に乗り込んだ幕臣・山岡鉄舟との会見交渉で成し遂げられました。今回は西郷をして「命も名も金もいらぬ無我無私の御仁」と驚嘆させた鉄舟の人間力を考察し究明します。
- ◆講師略歴: やまもと・きくお

1940年生まれ。中央大学商学部卒業後、ビジネスマン生活を経て、現在は著述業・経営コンサルタントのかたわら、「山岡鉄舟研究会」会長などをライフワークとする。月刊ベルダ誌にて「山岡鉄舟」を12年間連載中。「山岡鉄舟研究会」「渋谷時流塾」主宰。著書に『世界の牡蠣事情』(2010年)『世界の牡蠣事情 II』(2014年)他多数。

• 開催日時: 5月14日(土) 14時~15時30分

● 申込締切:5月2日(月)必着

● 会場:江戸東京博物館・1階ホール

定員:200人 同伴者可(はがきに氏名連記)

参加費:会員500円・同伴者600円(当日払い)

【企画担当責任者】大森美恵子(事業部会)

見学会

広重『名所江戸百景』周辺探訪 ーその14(早稲田・神田川 周辺)ー

◆この企画では広重が描いたと思われる場所とその周辺を探訪します。探訪では広重『名所江戸百景』の世界にタイムトリップし、江戸の町の成立や発展、人々の生活や声などを身近に感じていただければ幸いです。今回は、神田川沿いに、江戸川橋から早稲田周辺をめぐり、高田馬場まで歩きます。神田川に姿見橋が架かり、その付近は太田道灌の「山吹の里」伝説があるという、広重「高田姿見のはし俤の橋砂利場」絵や、将軍家光が、旗本達の馬揃えや、馬術の練習のために築いたという、広重「高田の馬場」絵などを訪ねます。「高田の馬場」は堀部安兵衛が敵討をした所としても有名です。所要時間は約3時間半、JR高田馬場駅で解散となります。

(今回、訪ねる広重の作品)「せき口上水端はせを庵椿やま」、「高田の馬場」、「高田姿見のはし俤の橋砂利場」、「井の頭の池弁天の社」

• 開催日: 3月27日(日)受付後順次出発 時間厳守

• 受付開始:12時15分 受付終了:12時45分

• 集合場所:東京メトロ有楽町線「江戸川橋」駅

地上 1 a (江戸川橋側)出口

• 申込締切: 3月17日(木)必着

• 定員:150人 同伴者可(はがきに氏名、住所、電話番号連記)

• 参加費:会員、同伴者とも500円(当日払い)

【企画担当責任者】山本 隆(事業部会)

『町方書上』全巻刊行完結記念セミナーの開催

テーマ: 「江戸の名主」

講 師: 髙山慶子さん (宇都宮大学准教授) 開催日時: 3月31日(木) 15時~16時30分

申込方法など詳細については7ページをご覧ください。

「増上寺宝物展示室」招待券プレゼント!

今月号のトップ記事に関連して、大本山増上寺様より「増 上寺宝物展示室 | の招待券を10枚いただきました。宝物展 示室と、徳川将軍家墓所も拝観できる招待券です。

ご希望の方は友の会の催事への応募と同じ要領で、お申 し込みください。申し込み多数の場合は抽選とさせていた だきます。

申込締切は3月14日(月)。当選者の発表は、招待券の発 送をもってかえさせていただきます。奮ってご応募くださ



≥11≥「えど友広小路」へ投稿お待ちしています!≥11≥

えど友広小路の会員投稿欄は、会員の皆様が日頃江戸・東 京の歴史や文化に触れ合う中で感じたことや、普段思ってい ることを発表していただく場です。例えばあなたの好きな時 代小説、ひいきの歌舞伎役者、お気に入りの神社仏閣や身の まわりの歳時記的なことなど、何でも結構です。日頃関心を 持たれていることを気軽に書いてみませんか? 1964年の 東京オリンピックに関する思い出も継続して募集しています。 1000字程度にまとめてご応募ください。

(原稿は江戸博「友の会事務局」宛にお送りください。広報部 会宛てのメールに添付して送っていただくこともできます)

会員優待のお知らせ

好評開催中!

「レオナルド・ダ・ヴィンチ ―天才の挑戦」

会 期:1月16日(土)~4月10日(日)

会 員:一般730円、65歳以上370円、大·専門生580円 同伴者:一般1,160円、65歳以上580円、大·専門生930円 *高校生、中学生、小学生は65歳以上と同じ。

●(注)割引を受けられる同伴者は1人だけです。

次回予告

2016年NHK大河ドラマ特別展 「真田丸」

会 期:4月29日(金·祝)~6月19日(日)

会 員:一般670円、65歳以上340円、大・専門生540円 同伴者:一般1.080円、65歳以上540円、大·専門生860円 *高校生は65歳以上と同じ。中学生以下は無料。

▶(注)割引を受けられる同伴者は1人だけです。

企画展のご案内

近代百貨店の誕生 三越呉服店

会 期:3月19日(土)~5月15日(日) 会 場:常設展示室 5 F 企画展示室

休館日

3月

金土 ∃月火水木 8 9 10 11 12 14 15 16 17 18 19

20 21 22 23 24 25 26

27 28 29 30 31

金土 ∃月火水木

3 5 6 10 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23

25 26 27 28 29 30

今年の友の会総会は5月27日(金)です。

新しく会員になられた方々の参加をお待ちしています。 総会後には会員同士の交流会があります。とても楽しい 集いです。ぜひ、ご参加ください!

催事のお申込方法

- ◆普通はがきに、
 - ①催事名(略名可)・開催日
 - ②会員番号(必須)
 - ③氏名(同伴者連記)
 - を明記して下記の「友の会事務局」へ。
- ◆申込は、催事ごとに会員1人1通。
- ◆友の会へのご意見・ご要望があれば記入してください。
- ◆申込先:〒130-0015 東京都墨田区横網1-4-1 江戸東京博物館「友の会事務局」
- *「えどはくカルチャー」など江戸博への申込とは違います。

- *お申込いただきますと、「受講票」をお送りします。当日ご持 参のうえ、受付で登録してください。
 - なお「受講票」は逐次お送りするのではなく、申込締切数日後 一斉にお送りしますので、それまでお待ちください。
- *いずれも申込多数の場合は抽選となることがあります。
- *「受講票」未着のお問合せや参加予定変更の連絡などはなるべ 〈事務局員出勤の火曜日か金曜日(10 時~12 時、13 時~17 時)にお願いします。
- *「受講票」がないと受講できません。必ず事前に申込をしてか らご参加ください。

会報<えど友>第90号

平成 28 年 3 月 1 日発行(奇数月1日発行)

編集・制作:江戸東京博物館友の会広報部会

E-Mail: edo_tomo_koho@yahoo.co.jp

発行人: 畠中 勇(会長) 編集長: 中村貞子

岡本 脩、福島信一、内匠屋京子、佐藤美代子、前田太門、菊池真一、 竹中祐見子、光田憲雄、大橋弘依、田辺友紀子

発行: 江戸東京博物館友の会

〒130-0015 東京都墨田区横網 1-4-1 電話 03-3626-9910